

# Mikhail Pletnev

*Founder and Artistic Director*

# Russian National Orchestra

**ミハイル・プレトニョフ**(創設者&芸術監督)

*Mikhail Pletnev, Founder & Artistic Director*

その幅広い活動により、一言では説明出来ない多才な芸術家。ピアニストとして世界の頂点を極め、指揮者や作曲家としても魔法のような才能で、世界中の聴衆を魅了。ドレスデン国立歌劇場管、コンセルトヘボウ管、フィルハーモニア管を始めとするオーケストラのほか、ボリショイ・オペラでの「スペードの女王」指揮でも大成功を収めている。

1957年生まれ。78年、弱冠21歳でチャイコフスキイ国際コンクールのゴールド・メダル及び第1位を受賞し、国際的な脚光を浴びる。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。しかし、2006年、突然ピアニスト活動を停止し世界を驚嘆させる。SHIGERU KAWAIピアノとの出会いにより、2013年よりピアノ活動を再開。

1990年ロシア内外の個人、会社、財團等の支援によって資金を得、ロシア史上初めて国家から独立したオーケストラとしてロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を設立。これはロシアでのプレトニョフの知名度・人気の高さを証明している。

東京フィルハーモニー交響楽団には2003年7月以来指揮者として定期的に招かれ、楽団員の圧倒的支持により2014年特別客演指揮者に任命される。

1995年エリツィン前大統領および2002年プーチン前大統領によってロシア共和国第一等国家賞を授与されている。

**反田恭平(ピアノ)** *Kyohei Sorita, Piano*

2012年 高校在学中に第81回日本音楽コンクール第1位入賞。併せて聴衆賞を受賞。2014年チャイコフスキイ記念国立モスクワ音楽院に首席で入学。2015年イタリアで行われている「チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール」古典派部門で優勝。年末には「ロシア国際音楽祭」にてコンチェルト及びリサイタルにてマリンスキー劇場デビューを果たす。

2016年のデビュー・リサイタルは、サントリーホール2000席が完売し、圧倒的な演奏で観客を惹きつけた。また夏の3夜連続コンサートをすべて違うプログラムで行い、新人ながら3,000人を超える動員を実現する。2017年春にはオーケストラとのツアーを12公演、夏には初のリサイタル・ツアーを行い、全公演完売で終了した。

現在コンサートのみならず「題名のない音楽会」「情熱大陸」等メディアでも多数取り上げられるなど、今、もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。

2017年出光音楽賞受賞。CDショップ大賞「クラシック賞」受賞。

オフィシャルHP <http://soritakyohei.com/>



物語のおおよその構成は以下の通りです。

舞台は、魔王カスチエイの庭園。魔法の木に成る黄金の果実を目当てに火の鳥がやって来る。そこへ火の鳥を追っていたイワン王子が現れ、火の鳥を捕らえるが、火の鳥は自らの黄金の羽根と引き換えに解放してもらう。やがて魔王カスチエイの城から、魔法にかけられた13人の王女たちが現れ、イワンはその中の一人の王女ツァレーヴナと恋に落ちる。

夜が明けると、王女達は城内へ走り去り、魔王カスチエイの手下達が現れてイワンを捕らえてしまう。城に戻ってきた魔王カスチエイは、イワンを魔法で石に変えようとするが、火の鳥からもらった黄金の羽根を振りかざすと、火の鳥が舞い降り、魔物達を眠らせてしまい、不死の魔王カスチエイの魂が秘められた卵の存在をイワンに告げる。イワンはその卵を割り魔王カスチエイは滅び去り、その魔力も失われる。イワンはツァレーヴナと結婚し、大団円を迎える。

## バレエ組曲「火の鳥」(1945年版)について

「春の祭典」「ペトルーシュカ」と共にストラヴィンスキーの三大バレエのひとつとして知られる「火の鳥」は、ディアギレフ率いるロシア・バレエ団の委嘱により作曲されました。ロシア民話を題材としたこの作品は、斬新なハーモニーやリズムでオーケストラから目映いばかりの色彩を引き出し、ロシア民謡も効果的に取り入れたストラヴィンスキー初期の傑作です。初演はフォーキンの振付・監督により1910年、パリ・オペラ座で行なわれ圧倒的な成功を収めました。その後、ストラヴィンスキーは1911年、1919年、1945年と3作の演奏会用組曲を編んでいます。今回演奏される1945年版は、アメリカに移住してから書かれた最終版で、1919年版と同じ2管編成ながら、より高い演奏効果が得られるように手が加えられています。

ちなみに、漫画家、手塚治虫の「火の鳥」は、このバレエを観劇した手塚治虫が、その「情熱的で優雅で神秘的な姿」に魅せられ着想したと言われています。



イゴリ・ストラヴィンスキー (1882-1971)